

いじめ防止プログラム

「いじめ防止プログラム」が加須市立騎西中学校（平成25年度明るく安心して学べる学校づくり協力校）で平成25年9月27日に実施されました。

1 「いじめ防止プログラム」の趣旨

「いじめ防止プログラム」は、いじめを未然に防ぐため、生徒による積極的かつ主体的な取組を推進するために実施する。



2 当日のプログラム内容

○ 講師 湘南 DV サポートセンター 飯田 亮瑠 氏

- (1)全体講演
- ・湘南 DV サポートセンターの紹介
 - ・いじめや暴力のインパクトについて
 - ・お天気のワークショップ
(晴れ、曇り、雨、雷マークはどんなイメージかをお互いに意見を出し合い、人によって感じ方の違いがあることを知るワークショップ。)
 - ・ワークショップのルール



(2)ワークショップ① 「いじめは許されない」

- ・いじめの定義
- ・加害者ってどんな人

(3)ワークショップ② 「加害者の背景」

(4)ワークショップ③ 「大切な自分」

(5)ワークショップ④ 「伝えよういじめ防止」

- ・境界のワークショップ
人にはそれぞれ境界がある。実際に先生と生徒による「歩いて相手が近づいてくるとき、どの地点でストップをかけるか」という実験をとおして、人それぞれ境界線の感じ方が違うことを知るワークショップ。
- ・アサーションのワークショップ
アサーションとは「より良い人間関係を構築するためのコミュニケーションスキルの一つ」である。電車の車内を想定し生徒に「もし隣の客が居眠りをして寄りかかってきたらどう対応するか」という実験を





ととして、「自分が嫌だという気持ちを相手にどのように伝えるか」を考える。「人は誰でも自分の意見や要求を表明する権利がある」ことに気づくワークショップ。

3 実施の様子

生徒は大変積極的に発言をし、活発なワークショップとなった。生徒が自分自身や他者との人間関係について考え、ワークショップを通じて自尊感情を高め、暴力によらないコミュニケーションの方法を学ぶことができた。



【ワークショップの様子】

4 参加した生徒の感想

- 1 言葉は、いろいろあって覚えられなかったけど、最後の「相手も自分もお互いにOK」ということは覚えられたのでよかったです。これからは、今以上に人の気持ちを考えて行動したいです。
- 2 いじめやDVについて、境界や人間関係について授業をして、とても勉強になりました。今までは、あまり気にしてなかったけど、いろんな場面での人間関係を考えていきたいと思いました。
- 3 いじめやDVについてたくさんのことを学びました。人の気持ちを考えること、自分の気持ちを大切にすることを改めて深く感じました。これからの学校生活では友達を大切に、いじめなどがあったら相談していきたいです。
- 4 私はたまに友達や物にあたって暴力などをしてしまったことがあります。今日の飯田さんの話を聞き、そういうことをやってしまう自分を止めて、みんなと仲良くしたいと思いました。いじめを見ていても止められないときもありました。でもこれらは今日学べたので、今日のことを毎日思い出して、いじめのない学校にしたいです。
- 5 講師の先生の説明はとてもわかりやすく、DVのことやいじめのことなどそのつらさや見ているだけでも心に影響があるということがよくわかりました。また、自分の素直な気持ちや相手を不快にさせないように優しい言葉で「NO」を伝えられるようにしたいです。



6 今日、飯田先生の話を聞いて実際に苦しんでいる人がいるということが分かりました。

劇やボードに書くことでよりわかりやすかったです。

「いじめ」がなくなるように、お互い「OK」な気持ちになれるように心がけていきたいです。



【境界のワークショップの様子】

7 私は話を聞いて、人間関係の難しさについてよく分かることができました。自分も生活の中で思い当たることがあったので、今回聞いた話を生かし、いじめにならないようがんばっていきたいです。

8 ぼくは、このいじめ防止教室をうけて、人のことを考えてあげられる人になりたいです。いじめをしている人がいたらとめていきたいです。

9 改めて思ったのがいじめや暴力をしてはいけないなと思いました。また、最近では家庭内暴力があると聞いておそろしいなあとと思いました。ぼくも、暴力や悪口などを言わないで楽しい学校生活をしていきたいです。

10 私が学んだことは、人間関係や心の距離です。自分がよくても相手がいやかもしれない。自分の心を伝えるのも大切だと思いました。自分も相手も大丈夫な関係になりたいです。

11 私は、小学校の時にちょっとしたいじめを受けていました。そして、小学校のときにいじめをしてしまいました。今振り返ると、なぜいじめをしたんだろうと思いました。やはり、いじめはいけないことで、「いじめは絶対にしてはいけない」と思いました。

12 今日、人への接し方やいじめはだめだということなど、いろいろなことがわかったので、これからいじめが起きないように、人の気持ちもしっかり考えて行動できるようにしたいです。

